

平成21年 9月 8日  
午前10時02分 受領

平成21年9月8日

福島町議会議長 溝部幸基様

福島町議会議員 4番 木村隆 ⑩

一般質問通告書

福島町議会定例会9月会議において、次の件について質問したいので、会議条例第60条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
新型インフルエンザの予防策と対応について	<p>世界的に猛威を振るっている新型インフルエンザは、8月1日現在、世界約135000人の感染者数と820人の死亡者が報告されています。先日函館でもA型インフルエンザ感染者が確認され、いつ当町で感染者が発生してもおかしくない状況です。例年インフルエンザが流行する12月からの冬期間を前にして、今後、敬老会、学校祭、文化祭など、気密性のある施設で町民交流が増える傾向があり、最低限の予防策が必要である。</p> <p>町民個々の、うがい、手洗い、マスク着用の徹底は勿論であり、広報等で感染防止の周知が必要だと思うが、感染を未然に防止するためにも、役場、学校、温泉など、各公共施設や、各種イベントに、アルコール消毒液を置くべきではないか。</p> <p>また新型インフルエンザの流行は20代以下に集中しており、当町でも今後学級、学年閉鎖も予想される。北海道教育委員会では、厚生労働省が示した新型インフルエンザクラスターサーベイランスに基づき、学校における感染を防ぐための目安を定めている。学校関係で新型インフルエンザ感染者が認められた場合の閉鎖等の対応をどのように考えているのか。同様に老人福祉施設や、各種学級、施設などでの感染者が認められた場合の行政対応を伺いたい。</p>	町長 教育長

- 注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。  
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
地震防災等のハザードマップ策定について	<p>地震発生時の揺れやすさなどを想定し地図で住民に示す地震防災マップは、今年4月時点で全道市町村の62%が未整備である。予想外の地震には備えが不可欠であり、町民がマップを使いどのような危険が身の回りにあるのか認識するのが防災の出発点である。地震による危険を身近に感じてもらうため、災害発生時に敏速、的確に非難できるように地震防災マップは必要なのではないでしょうか。</p> <p>また2年前に津波ハザードマップの一般質問をしました。後期開発計画に登載されるようではあるが、地震防災マップと併せて作成し、全戸配布することによって、町民の防災意識の高揚を図るべきではないか。最重要課題に安心安全、災害に強いまちづくりを掲げる町としての見解を伺う。</p>	町長
墓地公園の整備について	<p>当町の墓地公園の墓石建立未契約区画は、9月8日現在、残り26区画となっている。建立の許可件数は過去5年間の平均が約13件で、早ければ2年後には区画がいっぱいになる可能性がある。公益行政サービスとして、早期の新しい墓地区画の整備が必要ではないでしょうか。</p>	町長